社說

日英同盟

多年孤立したる英國も近〻漸く政友を求むるの必要を感ずるに至りしが如し殖民大臣チエーンバレン氏は、アングロサキソン同盟の急務を演說すると共に支那問題に關して英國と事を共にするものを見出さゞる可らずと云ひ又總理大臣ソールズベリー侯は日本と提携しなる顧末を發表したるよし畢し日英交際の親密なるは、一朝一夕に非ず日本が英國の友とす可きを思ふと共に英政府も亦我に好意を表する其證據は例へば條約改正に付て第一に我希望を容れたる者は英國にして他の諸國との改正談判が容易に行はれしは實に其好意に因るものと云はざるを得ず次に露佛獨の三國は同盟して遼東還附を日本に迫りしかども英國は其同盟に加はらず我をして單獨の光榮を全うせしめんとしたるも亦日本人の永く忘れざる所のものなり既往の交情かくの如くなるが上に支那問題に付て互に利害を同うする其次第は英の對清政策を察するに只商賈貿易の利を利せんとするのみにして敢て土地を侵略して其獨立を危うせんとするの意なきは明白なり實に大藏大臣マイケル　ヒックスビーチ氏は公會の席に演說して曰く英國は毫も支那の領土を占領するの志なし只商業の爲めに其門戶を開かしめんと欲するのみと英國の眞の利益は支那を保存して之を文明に導くに在る可し其今日統治術を占領したるは版圖を擴張せんが爲めに非ず他國の侵略に對して均勢を保たんとするの意に外ならざるは世人の察するに難からざる所なる可し而して日本の方針は如何と云ふに恰も英國と符節を合するが如し敢て支那の領分を蠶食するの野心なきは勿論にして望む所のものは只その國を開いて獨立の實を全うせしむるに在るのみ支那にして一たび列國の割拠する所と爲らんか日本は恰も鼎の中原に鹿を移したると同樣にして自から立國の難きを感ずる比仮して四百餘州が文明の風に靡きて共に方向を共にするに至れば商賈に利するも所大なるのみ亦あず東洋の平和を維持するの弥容易なる可し自餘の利害に關ふる事本は本帝國の保全を計もるを得ず即ち日英兩國は極東問題に對して全く利害を同うするものにして今日相共に提携するは自然の勢と云ふ可し或は其の海軍は世界第一なり必ずしも他の助力を要せざるが如く亦也も兩國がいよ〻〻野心を逞うして支那內地に侵入しようとする如きことあらば英國は自己の利益上に於て[illegible]

[illegible]

人として國たる資格を有せしむる上に於て不利益を來す恐れなからしむる爲め品行端正なるものとしたるなりと答へ廣澤伯の讀會略の動議に依り直に第三讀會に移り本案可決せり

日本勸業銀行法中改正法律案

委員會修正案　可決

特別委員長由利公正氏は簡單に委員會の經過を報告し第三十五條中五十圓を三十圓に改むとあるを二十圓に修正したりと述べ尙ほ本案は簡單なるに付き讀會を省略して直に可決ありたしとの請求を爲せり天春文衛氏は質問して曰く農工銀行も勸業銀行と均しく民間零碎の資本を募集するにあり然るに勸業債券を二十圓とすれば農工銀行の債券募集上に障碍を與ふる結果を來さゞるやと由利氏は之に答へて委員會に於ては農工銀行は農工銀行なり勸業銀行は其利害に關係せず二十圓と決定したるなりと答へたり讀會省略には贊成者なかりしを以て議長は第二讀會を開くべきやを諮りし異議なし

第二讀會に移りて小笠原壽長氏は第卅二條中「大藏大臣の認可を受け確實なる銀行」とあるを「大藏大臣の認可を經て他の銀行に」と改むべしとの修正說を發議し其理由として苟も大藏大臣が許可を與へたる銀行に確實と不確實との差別あらんや故に特に確實なる銀行と記すは其當を得ずと陳述せり添田政府委員は此說に反對して不確實と認めたるものに許可を與ふるやとなるは勿論なれども銀行なるものは常に變動を生じ易きを以て必ずしも悉く確實なりと斷定し難し政府案の如く決定あらんことを望む之を述べ板倉子爵は修正說に反對し山中幸義氏も勸業銀行債券は比較的農工銀行債券よりも募集の點に於て便宜を有するが故に寧ろ五十圓にても甚しき差支なしと信ず若しも二十圓に引下ぐるが如きあらば農工銀行に多少の影響を與ふるや明なり故に反對すと述ぶ

次に谷干城氏は委員會修正說に、政府は同意するかと質し添田政府委員は之に對して強て反對するの意なし元來政府に於ても勸業債券は農工債券の募集に比すれば幾分か容易にして且つ勸業債券にして巨額の募集を得ればなほ勸業債券を三十圓とし農工銀行を二十圓とし其間に十圓の差を設くる見込なりしなれども二十圓說もなきに非ざりしが故に委員會修正說には強て反對せざる見込なりと答ふ議長は最早發議なければ採決せんと告げ第三十二條小笠原氏の修正說を起立に問ひしに少數にて消滅し次に委員會修正說を採決せしに多數、第三十五條の委員會修正說を採決せしに是れ亦多數にて即ち勸業債券額は二十圓とするに決定せり小笠原壽長氏の發議に依り引續き第三讀會を開き多數を以て委員會の修正說通り可決確定せり依て議長は昨日受領の政府案を本日の日程に上して可なるやを問ひ滿場異議なきを以て次の日程を報告して午前十一時五十分散會せり

○貴族院所見

特別委員長の報告　昨日の續きとして第一讀會の續きを特別委員長の報告なり初めの二條は谷子爵報告の任に當りし谷子は壮年に達せ[illegible]の文字は本[illegible]

梅氏は學者風なり伯、加藤氏、兒玉氏、三田氏等何れも質問の矢を放ちぬ以上の人々は此開期に於て初めて口を開くなりけり政府委員には寺尾氏と梅氏とあり丁巧みに受答をなしつ中にも梅氏が質朴なる學者風にて的確明快なる答辯をなし〻は先度の富井氏も思ひ出されて最と床し

小笠原子の修正案　最後の議事に移りて小笠原壽長子は一の修正案を出せりそは改正條項の中に見えたる確實なる銀行と云ふその確實なる二つの文字に藥置けぬ疑ひありとなり題分下らなき修正にしてわざ〻〻演壇に上るがものはなし小笠原子は長くは述べずと入念に斷りたれども何うしてあれより長く遣られて堪るものか

[illegible]

明は太だ明白なり何事ぞ小笠原子は尙ほ懲りずまに政府は不確實なる銀行なりと思ふかとばかりに給ふ谷子、見兼てや不確實なる銀行ありと大聲疾呼す是れにて少しは此解りになつたるやうなり

[illegible]

自分相應のものならむ是れに對して又相應の反駁者あらざるべからず出たれ板倉勝達子、本員は原案の贊成者なりとて自席に突立ちウーウと呼り出したる刹那、議長に演壇に登るべしと勸められ[illegible]

[illegible]

[illegible]